

令和5年度 千葉県立野田中央高等学校 シラバス

教科	保健体育	科目	総合スポーツ	単位数	2	クラス	選択
教科書	現代保健体育（大修館）		副教材等	アクティブスポーツ			

1 学習の到達目標等（科目の目標）

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め楽しさや喜びを深く味わわせることができるようになるとともに、公正・協力・責任の態度を身につけ、生涯を通じて継続的に運動ができる要になることを目標とする。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	総合スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり （体ほぐし、 体 力 を 高 める運動） ・機械運動 ・陸上競技 ・水 泳 ・球 技 ・武 道 ・ニュー スポーツ ・野外活動 ・体育理論 	より多くの種目を学習することによって、生涯を通じて継続的に運動ができる資質を身に着けます。	定期考査は行いません。
5			1. 2年に「体育」で行った種目についても取り扱い、より深く学習することによって体力の向上を図り、体育。スポーツの振興発展に寄与する資質や能力を身に着けます。	各種目において、スキルテストを実施します。学期ごとに実施した種目の筆記試験を実施します。
6			運動の楽しさや喜びを深く味わい、自ら進んで運動できるようにするために、体を動かすことの楽しさや必要性、各種の運動の特性などについて理解します。	毎時間の授業への取り組みが評価となります。
7			自己の能力や運動の特性に応じた課題を見つけ、解決していく力を身に着けます。	
8			生涯を通じて継続的に運動ができるように身体活動の意義・特性、各種目のルールや審判法について、学びます	
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				

3 評価の観点

関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して自ら運動をしようとする。
思考・判断	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。
運動の技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

4 評価の方法

「関心・意欲・態度」「思考・判断」「運動の技能」「知識・理解」の4つの観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

確かな学力を身につけるためのアドバイス

体育にとっての「学力」とは、基礎的な体力、知識、技能のもとに意欲を持って「スポーツを実践する力」です。運動の楽しさを味わうために自ら進んで活動することが求められます。日ごろから健康や安全に留意し、スポーツや運動を実践する習慣を身につけてください。

1・2年生で実施した種目を中心に実施します。3年体育では自主的活動を期待します。

授業を受けるに当たって守って欲しい事項

- ・服装は学校指定の体操服を着用してください。夏季（6月～9月）は、Tシャツ、ハーフパンツとなります。
- ・体育館、小体育館で行うときは指定体育館シューズを着用してください。格技館、セミナーハウスには素足であがってください。
- ・持ち物にはすべて記名をしてください。貸借は禁止です。
- ・授業はチャイムと同時に始めますので、授業場所へは休み時間のうちに移動を完了してください。また、貴重品はしっかり管理してください。
- ・見学者は授業前に担当者に申し出て、指示を受けてください。原則として、見学者も体操服に着替えてください。
- ・授業の用具は原則として体育科のものを使用します。使用には安全を心がけ、大切に使用してください。